

第2回 オレオマテリアル学術交流会

本交流会では、2017 年度に研究発表された、油化学関連分野の機能性材料に関わる研究開発で関心の高かった演者をお招きし、ご講演いただきます。本年度は、大学の先生方より基礎編、企業の方に応用編という形で4つのセッションに分け宿泊型で開催いたします。また、産学の交流を深める目的で、ポスター発表会と企業見学会(学生・学校官公庁勤務者のみ対象)を設けております。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

日時:2018年8月27日(月)~8月28日(火)
主催:日本油化学会 オレオマテリアル部会
協賛:日本化学会、高分子学会、日本農芸化学会、日本化粧品技術者会
会場:伊豆山研修センター <https://www.uniho.co.jp/hoyojyo/atami.html>
(熱海駅より送迎バス 15 分 (12:00, 12:30 に送迎バスを手配します))

【スケジュールと講演プログラム/ポスター発表会】

[1日目] 8月27日(月)

12:15~12:50 受付

12:50~13:00 冒頭挨拶および部会紹介 部会長 織田 政紀 (日本ロレアル株)

13:00~13:50 <Session 1: 界面活性剤と洗浄(基礎)>

N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)- β -アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤: 特異な界面吸着とミセル形成

奈良女子大学 研究院自然科学系化学領域 吉村 倫一 氏

低刺激性で適度な洗浄力をもつ N-アシル- β -アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤にヒドロキシ基を導入すると、表面張力曲線に大きな極小を示すことを見出した。本講演では、この N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)- β -アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤の気/液界面における吸着挙動と水溶液中での会合体特性について紹介する。

13:50~14:30 <Session 1: 界面活性剤と洗浄(応用)>

N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)- β -アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤: シャンプーへの応用

クラシエホームプロダクツ株 ビューティケア研究所 松江 由香子 氏

N-アシル-N-(2-ヒドロキシエチル)- β -アラニン塩のアミノ酸系界面活性剤をシャンプーへ配合するのに適した構造の検討を行い、N-ラウロイル-N-(2-ヒドロキシエチル)- β -アラニンNaを選択した。また、本界面活性剤を配合したシャンプーの処方検討、性能について報告する。

14:45~15:35 <Session 2: 機能性食品材料(基礎)>

環状オリゴ糖を用いた油の中の有害物質除去

大阪大学 大学院工学研究科応用化学専攻 木田 敏之 氏

シクロデキストリン(CD)はデンプン由来の環状オリゴ糖であり、その空孔の形と大きさに合う分子を包接することができる。この包接能は学術的にも工業的にもこれまで広く利用されてきた。しかし、CDによる分子の包接のほとんどは水中に限られており、非極性溶媒や油の中での効果的な包接は困難と考えられ、実現されていなかった。本講演では、油や非極性溶媒中の分子を効果的に包接できる CD 誘導体と、それらを用いての油中の有害物質の除去・回収について述べる。

15:35~16:15 <Session 2: 機能性食品材料(応用)>

ヒアルロン酸の産業上での利用と機能

キューピー(株) 研究開発本部 商品開発研究所 保科 亮祐 氏

キューピーはマヨネーズの原料として使われる卵周辺の機能性成分の研究開発を行っている。

ヒアルロン酸は卵の生みの親である鶏の鶏冠に含まれ、保水力、粘弾性といった特徴を持つユニークな多糖である。今回はヒアルロン酸の産業上での活用状況やキューピーにおけるヒアルロン酸の機能研究の内容について紹介する。

16:30~17:10 <Session 3: 有効成分と製剤(応用)>

抗シワ医薬部外品成分 NEI-L1 のシワ改善作用

ポーラ化成工業(株) フロンティア研究所 楊 一幸 氏

高度高齢化社会の拡大に伴い、シワ改善は顧客の普遍的なニーズとなってきたことから、業界各社もシワ対応製品の開発に積極的に取り組んでいる。本セミナーでは、2016年に本邦で初めて製造販売承認を得た抗シワ医薬部外品の開発事例を中心に、シワ対応製品を取り巻く環境からヒト有効性評価、有効成分の作用機序について概説する。

17:10~18:40 チェックイン/入浴 等

18:40~21:00 夕食(立食)交流会 および ポスター発表会 /ポスター賞授賞式

21:00~22:30 ミキサー

[2日目] 8月28日(火)

09:00~09:50 <Session 3: 有効成分と製剤(基礎)>

リン脂質・界面活性剤の諸物性に対する水和状態および疎水性添加物の影響の体系的理解

筑波大学 数理物質系 化学域 菱田 真史 氏

両親媒性分子の自己組織化に対する周囲の水の役割を知るべく、新規な分光法を用いて研究を行った結果、水和水がこれまでの想像以上に構造形成や相挙動に影響していることがわかってきた。また、リン脂質膜の諸物性に疎水性の小分子が与える影響を、添加分子の分子種を超えて体系的に理解するためのアプローチについても紹介する。

10:05~10:55 <Session 4: 材料界面と製剤(基礎)>

平衡から遠く離れた条件下で自発的に発生する界面(?)のダイナミズムとコスメティックサイエンス技術

慶応大学 応用化学科 開放環境科学専攻 朝倉 浩一 氏

「水-エタノール界面」などと言ったら、「バカ?」と思われるかもしれませんが、平衡から遠く離れた条件下では、「ダイナミズムを伴う水-エタノール界面」が自発的に発生します。化粧品は、塗布、乾燥など、様々な平衡から離れた条件下に晒されるので、そこで発生するダイナミズムを制御する技術は、コスメティックサイエンスにおいて極めて重要であるかもしれません。

10:55~11:35 <Session 4: 材料界面と製剤(応用)>

油膜としてのサンスクリーン塗布膜の観察と応用

資生堂(株) 山口 和弘 氏

近年のサンスクリーンは快適性が高まっているが、肌を守るという本来の効果が大切であることは言うまでもない。そして肌上の紫外線吸収剤の膜で防御する以上、サンスクリーンの効果は膜の状態に左右される。そこ

で新しい観察手法による塗布膜観察例とそこから生まれた「水に触れるとサンスクリーン効果が高まる技術」について紹介する。

- 11:35～11:40 閉会の挨拶 副会長 渡辺 嘉（大阪産業技術研究所）
11:40～11:50 記念撮影 / 企業見学の説明
11:50～12:15 送迎バスにて熱海駅移動（企業からご参加の方はこれにて解散となります。）
14:00 小田原駅東口集合
14:00～14:30 バスにて花王(株)小田原事業場へ移動（箱根登山バス 花王前 下車）
14:30～17:15 花王(株)小田原事業場 見学
17:15～17:45 バスにて小田原駅東口下車 各自解散

■ 参加申込方法 ■

1. E-mail にて、下記必要事項をお知らせください。

0) 件名 : オレオマテリアル学術交流会の申し込み

1) ご氏名 2) ご所属 3) ご住所 4) 電話番号 5) E-mail

6) 資格（下記より選択）

（ ）日本油化学会正会員 30,000 円

（ ）協賛学会個人会員・法人会員 32,000 円

（ ）オレオマテリアル部会友会員 33,000 円

（ ）一般・会員外 35,000 円

（ ）学生 13,000 円

7) 振込み予定日

8) 企業見学の参加・不参加（学生・学校官公庁勤務者のみ）

9) ポスター発表の参加・不参加（学生にはポスター賞を設けております。企業紹介も可能です。）

10) その他ご要望（宿泊が難しい場合等）

2. 申込連絡先

日本ロレアル(株) 応用研究所 織田 政紀

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D-B1220 〒213-0012

TEL : 044-812-3997 / 080-4147-6883（共に直通） E-mail: morita@rd.loreal.com

3. 振込み先

三井住友銀行 鎌ヶ谷支店(905) 口座番号 普通 0660040

名義: 日本油化学会オレオマテリアル部会（ニホンユカガクカイオレオマテリアルブカイ）

振込み手数料は、各自でご負担の程よろしく願いいたします。

4. 期限

振込み期限は7月13日(金)です。本期限以降にキャンセルをされる場合、宿泊費用・会場費を差し引いた金額をご返金する形となりますのでご了承ください。
